

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和6年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立環境情報センター
指定管理者名	三菱電機ライフサービス株式会社
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	相模原市立環境情報センター条例
施設の設置目的	環境の保全及び創造に関する学習の推進並びに市民等が自主的に行う環境の保全及び創造に関する活動の促進を図る。
施設概要	開所日 平成18年4月1日 所在地 相模原市中央区富士見1-3-41 構造 鉄筋コンクリート造2階建て 敷地面積 2,393.29㎡（衛生研究所敷地含む） 延床面積 600㎡
施設所管課	環境経済局環境部ゼロカーボン推進課

2 管理実績

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者数合計（人）	12,395	15,660	16,805	15,411	11,880		
利用料金合計（円）	1,026,255	1,274,559	1,312,870	857,297	425,160		
貸館率（%）	70	72	59	60	25		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	<p>目標の達成度は126.5%であり、評価基準により「S」評価とする。</p> <p>新規企画の講座実施や外部イベントへの積極的な出展を通じ、環境について関心のある層だけでなく、無関心層を含む幅広い市民に対して環境意識の普及啓発を実施し、前年度からの大幅な参加者増に繋がった点は高く評価できる。</p> <p>今後も、魅力的な環境学習講座の企画や市民への多様なアプローチにより、更なる環境学習の機会の創出や環境意識の普及啓発に努められたい。</p>

指標1

指標名（単位）	事業開催に伴う参加人数（単位：人）
指標式と指標の説明	$(\text{環境学習事業の参加人数の実績値} / \text{目標値}) \times 100$

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（単位）	/	/	2,850	2,900	2,950	3,000	3,050
実績値（単位）	332	1,238	2,518	3,330	3,732		
達成度（%）	/	/	88.4%	114.8%	126.5%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>評価基準により「A」評価とする。</p> <p>新たな環境学習事業を10回開催したことや、積極的にイベントへの出展を行ったことにより、環境学習事業の参加者数が前年度より400人以上増加したことは特に評価できる。一方、アウトリーチ型事業以外の参加者は約200名の減少となっていることから、今後は更に市民の環境への関心を高め、環境を守る担い手を育成するための事業展開を期待する。</p> <p>また、機関紙の発行を単独から、子ども環境情報紙「エコチル」への掲載に変更し、配布先を拡充したことにより、より多くの人に情報を届け、施設の認知度向上に努めた点も評価する。</p> <p>また、Instagramでの環境学習講座や施設紹介のショート動画の配信を増やし、認知度の向上に努めているところであるが、多くの市民に環境情報を効果的に届けるため、様々な媒体の特性をいかした、より一層積極的な情報発信に努められることを期待する。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自然環境観察員制度事業 環境学習セミナーの開催 (年2回以上)	通年	<p>開催回数5回 101名参加と多くのボランティアが参加し自然環境に対する関心を高めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回環境学習セミナー/年度初め挨拶・紹介・活動説明、今年度全体テーマ説明、各部会交流会(自己紹介等) 34名 ・第2回環境学習セミナー/相模川ふれあい科学館見学 17名 ・第3回環境学習セミナー/環境DNAを活用した生物調査について 15名 ・第4回環境学習セミナー/講演会「都市の森林～その重要性と市民参加による評価～」 14名 ・第5回環境学習セミナー/講演会「相模原の自然と地形」 21名 	○
事業協力者登録制度「エコネットの輪」事業(年20回以上仲介、紹介)	通年	<p>団体数72件、プログラム74件(まちかど講座除く)、紹介・仲介数35件となりました。プログラム集は8月に改訂発行しました。</p> <p>市内小学校の校外実習としての施設見学等でご利用いただきました。また、「(株)パイロットコーポレーション」「相模原どこ竹とんぼ会」「昆虫文化を子供たちに伝える会」等のプログラムを仲介・紹介を実施し、開催に至りました。</p>	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
環境学習事業(年30回以上)	通年	<p>アウトリーチ型(大人用発電自転車に加えて幼児用の発電自転車を用いた事により多くの親子、ご家族に参加いただけた)でのイベント参加者も含め、多くの方々にエコパークさがみはらの環境学習を認知していただく事に繋がりました。また、新規のイベント・講座を10回実施しました。</p> <p>合計52回 3,732人 (参考)内容別参加者数(カッコ内は前年実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ事業 7回 2,473人(1,867人) ・おもちゃもったいないセンター&おもちゃの病院12回 735人(842人) ・環境学習講座 33回 524人(621人) 	◎
さがみはら環境まつり(年1回以上)	年1回	<p>初めての会場となる青山学院大学相模原キャンパス(中央区)にて、市内外から約4,000人の家族連れなどが参加され盛大に開催することができました。体験型のブースは事前予約がすぐに埋まり関心の高さを窺えました。事務局運営も積極的、且つ効率的に行うことができ、出展ブースは39団体となりました。</p>	○

環境情報システム事業（年60回以上、うち12回を動画）	通年	ホームページのアクセス数は累計46,646回。SNSはFacebook 100件、Instagram123件、を投稿し、情報の提供を積極的に行いました。身近な自然の発見や、スタッフの気づきなどの投稿もあり、好評いただきました。動画（YouTube・リール動画）は19件配信をしました。また、実施した講座、セミナーを録画した動画は過去のものも含めて徐々に視聴回数が増えている傾向にあり、環境学習の情報提供として、一端を担っています。	○
機関紙の作成事業（年4回以上）	通年	機関紙を単独での発行からエコチルへの掲載に変更し、計4回、134,648部を発行しました。エコパークさがみはらにおけるイベントの開催案内を年2回。夏休み環境学校参加募集案内及び相模原市の環境に貢献している会社紹介内容を1回ずつ発行しました。	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
障がい者雇用施設きこり商品販売	通年	木工品や布製品を販売。毎月、季節の商品の補充をきこりスタッフにて実施。きこりのスタッフとは来館者としても交流が図れています。	○
津久井産材商品販売	通年	木工品の販売を通して森林資源の有効活用や地産地消について啓発しました。	○
さがみはらSDGs推進自動販売機設置	通年	売上から相模原市への寄付のできる自動販売機を設置。地域貢献に繋げることができました。（SDGsパートナーへの登録）	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	目標の達成度は109.6%であり、評価基準により「A」評価とする。「満足」と「やや満足」が98.6%を占めており、満足度が高いサービスが継続的に提供できているものと評価できる。今後ともアンケートの意見の分析や、日頃から利用者の声に耳を傾け、利用者の更なる満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期：令和6年11月1日～令和6年12月15日 サンプル件数：207件						
目標値の基準	利用満足度の設問「全般的な満足度」に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合						
項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（%）	98.3	92.9	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	92.9	96.8	99.1	96.7	98.6		
達成度（%）	94.5%	104.2%	110.1%	107.4%	109.6%	0.0%	0.0%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
講座アンケートの実施	講座等イベント実施時	講座参加者に対するアンケートを実施。令和6年度全講座における「とても満足」または「満足」と回答した割合は93.2%であった。
意見箱の設置	随時	施設内に意見箱を設置し、施設運営全般に対してご意見をいただいた。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	施設の収支は本体事業収支、全体収支ともに赤字となっている。一方、団体本体の経営状況については特段の問題はない。引き続き利用料金収入等の確保やサービスの質を落とさない範囲での支出の見直しを行うことも必要と考えられる。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入 (a)		26,924	26,587	25,991
	指定管理料	25,433	25,534	25,413
	利用料金収入	1,313	857	425
	その他の収入	178	196	153
支出 (b)		26,375	26,299	27,508
	人件費	16,720	18,230	19,267
	本社管理経費	2,625	2,866	2,866
	その他の支出	7,030	5,203	5,375
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		549	288	-1,517
自主事業収入 (d)		62	66	62
自主事業支出 (e)		14	55	50
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		48	11	12
全体収支 [(c)+(f)]		597	299	-1,505
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	新着やイベント情報他にも、更新の必要な情報を速やかにわかりやすく公開しています。

9 指定管理者の自己評価

「かんきょうフェア2024」「アリオ橋本SDGsフェア」「さがみはら環境まつり」において発電自転車体験で約1,500人に参加いただき環境学習のきっかけ作りができました。「さがみはら環境まつり」は20回目の節目のまつりとして、また相模原市制施行70周年記念の冠事業として、昨年よりも1,000人多い約4,000人にご参加いただき盛大に開催することができました。情報発信としてホームページ・SNSにも注力しホームページアクセスの累計は、「さがみはら環境まつり」の情報アップやイベント情報の随時アップなどにより前年度に比べ1,352件の増となりました。またFacebook、Instagram、YouTubeのフォロワー数も順調に伸びました。【3月末フォロワー数Instagram：540件 Facebook：688件 YouTube 1,542件】。アップ数もSNS全般で前年度の8件の増となりました。環境学習事業は前年度に比べ2回増やして開催し、新企画のイベント・講座も10回の開催をしました。これに伴い参加者合計数は前年度に比べ402名の増となりました。自然環境観察員の登録者数においては、前年度に比べ8人増となりました。新たな取り組みとして、植物部会では植物ミニミニ勉強会の実施を致しました。また、調査活動やセミナー・部会・企画会議等は計画のとおり実施できました。エコギャラリーの展示は年間12回展示内容を変更して実施しました。エコネットの輪の紹介事業をとおして、地域の学校からの問い合わせも多く、学校単位での施設内見学も授業の一端としての実施が増えています。今後もより一層、地域に愛される親しみやすい施設を目指して参ります。

10 所管課意見

環境学習事業については、外部イベントへの出展により、参加者数が昨年度を上回ったことや新たに企画のイベント・講座を10回実施したことは評価できる。なお、参加者数が少ない一部の講座については、対象者に合わせた周知方法や内容の見直しにより、更なる環境学習の機会の創出や環境意識の普及啓発に努められたい。

エコネットの輪事業については、登録団体数が減少していることから、さがみはら環境まつりや外部イベントにおける多様な主体とのつながりをいかし、新たな登録団体の確保をするとともに、登録プログラムの更なる活用促進により登録団体の活躍の場の増加を図られたい。

小学校等の施設見学を積極的に受け入れたことにより、多くの施設利用者を確保していることは評価できるものの、全体的な貸室を含む施設利用者数が減少していることから、更なる様々な媒体を活用した施設利用の周知やエコギャラリー、情報発信コーナーの魅力向上を図るとともに、引き続き、市の環境教育及び環境活動の拠点施設として中心的な役割を担っていただきたい。

11 選考委員会意見

環境学習事業については、全体としては参加者数が増加しているものの、アウトリーチ型事業以外での参加者数は減少している。市民の環境への関心を高め、担い手を育成するという最終目的のため、アウトリーチ型事業をきっかけに施設や環境問題に興味を持った市民が、更に環境について深く学ぶための環境学習事業の企画等に取り組んでいただきたい。

SNSの発信においては、ホームページへのアクセスが集中している時期を見極め、同時期に発信する等、戦略的な情報発信に努められたい。

小学校等の施設見学においては、施設から遠方に住む子どもが施設利用をする貴重な機会となることから、今後とも受け入れを進めていただきたい。

利用者満足度調査では、一部不満の声もあることから、具体的な策を講じ、改善していただきたい。

施設収支が赤字となっていることから、収入を増やすことも考える必要があるが、サービスの質を落とさない範囲で支出の見直しを行うことも必要と考えられる。

総合評価 (自動判定)

A

(75/100)

